

## どうぶつのカフェ

二年 若林潤弥

ぼくの家には、チワワがいます。名前は、カフェでまんまるの目をしたかわいい犬です。カフェは、2年まえ4さいでうちにやってきました。

ぼくは、どうぶつがすきで、犬をかいたいとしたお母さんが、ペットショップでしごとをしているおばさんにれんらくしてペットショップに行きました。そこには、うすいちゃ色でカフェ色の犬がいました。

ぼくは、カフェにはじめて会った時、かまれそうでこわかったけど、なでていたらなついてきたので「つれてかえりたい。」

と、いいました。おせわをすることをやくそくしてかいはじめることができました。

しばらくするとはがいたそうにしているので、びょういんでみてもらったら、しゅじゅつすることになりました。はをたくさんぬいたからかわいそうだと思ったけどしゅじゅつの後、元気になってごはんをたくさん食べたから、しゅじゅつしてよかったと思いました。

ぼくは、カフェがはんしょく犬だと知って赤ちゃんとはなればなれになってかわいそうでかなしい

気もちになりました。だからこの先はさみしい気もちにさせないように、ずっといっしょにいてあげたいと思いました。

カフェがおるすばんのとき、かえりがおそくなるとすごいきおいでげんかんにはしつてきます。カフェはじぶんの子どもとはなればなれにされてしまったきおくがあるから、また1人になると心ばいになるんだと思います。だからこれからはたのしい思い出をいっぱい作ってあんしんしてくらせるようにせきにんをもっておせわをします。